

令和4年度 決算報告

～南魚沼市の令和4年度決算が、
市議会で認定されました～

【問合せ】 財政課 財政係 ☎773・6671

一般会計決算総額

歳入 **394億9,535万円**

前年度比 △9億1,877万円 2.3%減

歳出 **369億8,353万円**

前年度比 △17億8,417万円 4.6%減

特別会計決算総額

歳入 **129億4,118万円**

前年度比 △1億2,489万円 1.0%減

歳出 **126億2,143万円**

前年度比 △2億 121万円 1.6%減

特別会計内訳

会計名	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険	54億5,727万円	54億 749万円	4,977万円
後期高齢者医療	6億1,451万円	6億 550万円	901万円
介護保険	67億6,010万円	65億1,680万円	2億4,330万円
城内診療所	1億 930万円	9,164万円	1,766万円

※端数調整の都合で表示値と計算値が整合しない場合があります（以降同様）

公営企業会計決算総額

（収益的収支は税抜き、資本的収支は税込み）

水道事業会計	収入	支出
収益的収支	17億6,492万円	16億9,536万円
資本的収支	4億7,635万円	15億5,934万円
計 （前年度比）	22億4,127万円 （+4,946万円）	32億5,470万円 （△7,334万円）

病院事業会計	収入	支出
収益的収支	56億5,994万円	57億8,297万円
資本的収支	3億4,179万円	6億1,708万円
計 （前年度比）	60億 173万円 （+1億5,582万円）	64億 5万円 （+2億9,384万円）

※病院事業会計は、市民病院とゆきぐに大和病院の合計の数値です

下水道事業会計	収入	支出
収益的収支	32億6,115万円	32億1,169万円
資本的収支	18億4,640万円	28億2,881万円
計 （前年度比）	51億 755万円 （△6億6,313万円）	60億4,050万円 （△4億7,636万円）

主な基金の現在高（令和5年5月末現在）

財政調整基金	28億8,641万円
減債基金	1億 395万円
合併振興基金	33億7,280万円
文化・スポーツ奨励棚村基金	7,123万円
国際交流及び文化スポーツ基金	7,646万円
ふるさと応援基金	34億7,999万円
ふるさと応援活用基金	24億 650万円
人材育成及びリゾートオフィス・田園都市構想松井基金	6億6,245万円
その他	15億1,473万円
合計 （前年度比）	145億7,452万円 （+20億3,672万円）

市の財産（令和4年度末現在）

土地	2,109万3,708㎡
建物	31万5,601㎡
有価証券	4億3,100万円

市債の残高（令和4年度末現在）

一般会計	303億9,270万円
水道事業会計	70億4,479万円
病院事業会計	44億8,322万円
下水道事業会計	243億 218万円
合計 （前年度比）	662億2,289万円 （△46億8,287万円）

目的税の使途状況

入湯税 環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設、消防施設などの整備や観光振興に要する費用に充てるため、入湯客に対して課税しています。

令和4年度収入額：3,011万円

事業区分	事業費	入湯税充当額	充当事業の内容
環境衛生設備の整備	4億1,323万円	518万円	可燃ごみ処理施設の整備など
消防施設などの整備	1億8,351万円	82万円	ポンプや消火栓、仮眠室の改築、消防車両の整備など
観光施設の整備	817万円	135万円	八海山登山道の整備
観光振興	1億5,565万円	2,276万円	観光PR業務、道の駅南魚沼管理運営費、観光協会運営費補助、観光イベントへの補助など

※目的税は、地方税のうち一定の政策目的を達成するため、使い道を決めて課税するものです

主な財政指標（令和4年度 地方財政状況調査）

項目	数値	概要
標準財政規模	195億4,310万円	地方公共団体で標準的に収入が見込まれる一般財源の規模
財政力指数	0.410	地方公共団体の財政力の強弱を示す指標（令和2年度～令和4年度の3か年平均） ※この数値が1以上の団体は、国からの普通交付税が交付されません
実質収支	22億3,291万円	歳入総額と歳出総額の差額から翌年度に繰り越すべき財源を引いた額
経常収支比率	89.6%	毎年度義務的・経常的に支出される人件費、扶助費、公債費などの経費（経常的経費）が、使い道が特定されずに経常的に収入される市税や普通交付税などの一般財源の額（経常一般財源）に占める割合 ※比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表します

※地方財政状況調査は、全国市町村の普通会計決算状況について、統一的な方法で行われる調査です。普通会計として、一般会計と城内診療所特別会計を合わせた額で作成しています

令和4年度決算に基づく健全化判断比率など

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、令和4年度決算に基づく健全化判断比率と公営企業会計の資金不足比率を算定し、9月定例議会に報告しました。いずれも早期健全化基準を下回っており、財政状況は健全であるといえます。

健全化判断比率（基準より低い数値であるほど、財政状況が健全であると判定されます）（単位：%）

健全化判断比率	南魚沼市			早期健全化基準	財政再建基準	概要
	令和4年度	令和3年度	比較			
実質赤字比率（一般会計等分）	—	—	—	12.52	20.00	収入に対する年間赤字の割合を示した数値
連結実質赤字比率	—	—	—	17.52	30.00	実質赤字比率を特別会計・企業会計を含めた全会計に適用した数値
実質公債費比率（3か年平均値）	11.6	11.7	△0.1	25.0	35.0	収入に対する年間の市債償還額の割合を示した数値
将来負担比率	4.1	31.6	△27.5	350.0		一般会計などが将来にわたって負担する負債が、1年間の収入に対してどれくらいかを示した数値

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字のため「—」で表示しています。説明中の収入は、標準財政規模をいいます

資金不足比率（公営企業の事業規模に対する資金の不足額の比率を示す指標）

水道事業会計、病院事業会計、下水道事業会計の全会計で、前年度に引き続き、いずれも資金不足は生じていなく、経営健全化基準（20.0%）を下回っています。

令和4年度決算の詳細は、本庁舎（財政課）や図書館（駅前図書館本の杜、大和公民館、塩沢公民館）でご覧いただけます。気軽におこしください。

市ウェブサイトでも公開しています。

南魚沼市 決算

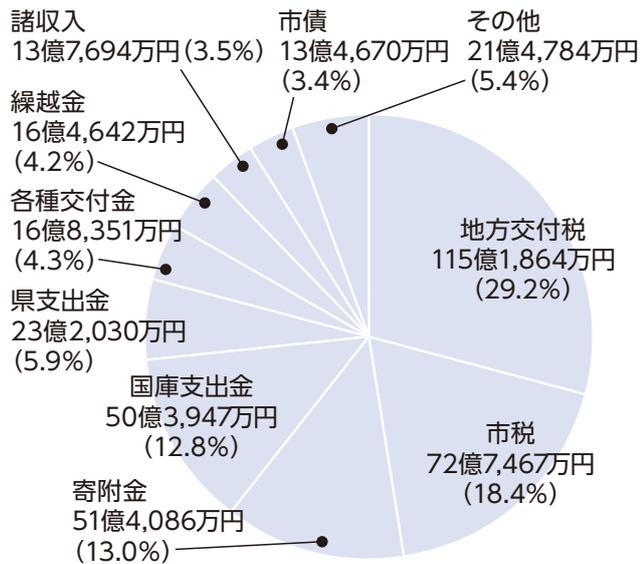
検索

<https://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/shisei/kaikaku/zaisei/kessan/index.html>



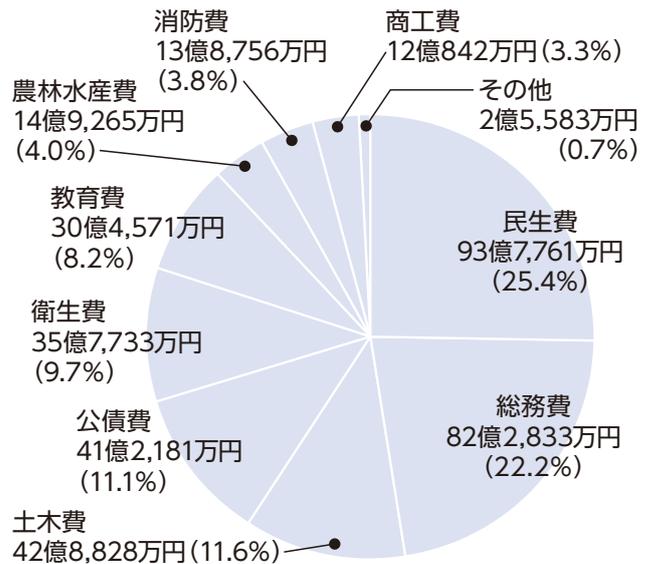
グラフで見る令和4年度 一般会計決算の内訳

歳入内訳 (394億9,535万円)



その他	21億4,784万円 (5.4%)
繰入金	11億2,334万円 (2.8%)
使用料及び手数料	3億7,990万円 (1.0%)
地方譲与税	3億3,767万円 (0.9%)
分担金及び負担金	1億7,510万円 (0.4%)
財産収入	1億3,183万円 (0.3%)

歳出内訳 (369億8,353万円)



その他	2億5,583万円 (0.7%)
議会費	1億8,298万円 (0.5%)
災害復旧費	4,213万円 (0.1%)
労働費	3,072万円 (0.1%)

南魚沼市独自の新型コロナウイルス感染症対策事業

事業名	事業の説明	決算額
高齢者施設・障がい者施設緊急支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響による原油高・物価高騰支援策として高齢者施設や障がい者施設に補助金を交付しました。	3,618万円
保育園等給食費・保育料負担軽減支援事業	物価高騰の影響に苦慮している子育て世帯に対して12月から3月の間、児童の保育料と副食費を無償化しました。	2,978万円
水道基本料金減免	エネルギーや食料品などの物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対する冬期間のエネルギー費用の負担を軽減するため、1月、2月使用分の基本料金を減免しました。	1億706万円
農業者等緊急支援事業	農業の継続や農産物の安定的な供給、品質の確保を目的に、作付面積や品目に応じて市内農業者へ上限1品目50万円の範囲内で支援をしました。	1億4,523万円
プレミアム付商品券事業補助金	市内の店舗で使えるプレミアム付き商品券を発行し、1枚1,000円の商品券を1冊13枚綴りとし、1万円で販売しました。	3億3,219万円
ふるさと応援プレミアム旅行券事業補助金(雪恋Ⅲ)	市外・県外向けのプレミアム付き旅行券の発行事業に対する補助をすることで、消費需要喚起を促し、市内の経済回復と市内の宿泊業者を中心とした観光事業者等に対して支援しました。	1億4,282万円
市内イベント復興支援事業補助金	市内において開催される各種イベント・キャンペーンを対象とし、例年の通常の枠とは別に、復興枠として補助金を交付しました。	1,516万円
学校給食費負担軽減支援事業	給食食材の高騰分を負担することで、給食の献立の充実と保護者負担の軽減を図りました。	1,551万円

令和4年度の主な事業

1 保健・医療・福祉

母子保健事業 **拡充** 4,701万円

産婦健診へ助成を行い、受診を促すとともに、健診結果を医療機関と共有することで、産後うつなどの早期発見・支援につなげる産婦健康診査事業を行いました。

従来の宿泊型、日帰り型の産後ケアに加え、外出が困難なケースなどに対応するため、助産師が訪問してケアを行う、訪問型産後ケアを開始しました。

看護師修学資金貸与事業 **拡充** 780万円

地域医療の充実を図るため、将来、市内の医療機関などで看護師として働くことをめざし、市内の養成学校に進学する学生支援を拡充しました。

出産応援緊急5か年事業 **継続** 4,315万円

出産のお祝いと子どもの明るい未来を願い、第1子に12万円、第2子に15万円、第3子以降に20万円の祝い金を支給し、子育て世帯を支援しています。

2 教育・文化

小学校大規模改造事業 **新規** 1億925万円

おおまき小学校のグラウンド改修や、城内小学校体育館の古くなったサッシを改修しました。

令和5年度に予定している北辰小学校長寿命化改修工事の実施設計を行いました。



体育施設整備事業 **新規** 4,976万円

旧第二上田小学校体育館を改修し、床に人工芝を敷いた全天候型のスポーツ施設「上田雪国スポーツセンター」として整備しました。



3 環境共生

ごみ処理施設整備事業 **継続** 3億5,141万円

稼働開始から約18年経過した可燃ごみ処理施設を、年間を通じて安定的なごみ処理が維持できるよう、施設整備計画に基づく延命化を図り、主要設備の更新と修繕を行いました。

4 都市基盤

個人住宅リフォーム事業 **拡充** 5,625万円

中古住宅を取得済みか、売買契約済みで居住または居住することが確定している人の500万円以上のリフォーム工事に対し、最大100万円の支援を行いました。ホームエレベーターや階段昇降機の新設に対し、従来の補助額に追加で10万円を支援しました。

市営住宅総合改善事業 **継続** 893万円

施設の長寿命化改修や住宅団地の統廃合を行うもので、令和2年度に改定した公営住宅長寿命化計画に基づき、市営住宅の室内改修工事や、赤石団地のアスベスト含有調査、後年度に工事予定の樋渡団地に係る設計業務を行いました。

5 産業振興

ふるさと里山再生整備緊急5か年事業

継続 5,000万円

里山林が持つ公益的機能の向上、荒廃里山林の再生や保全のため、集落周辺の荒廃した里山林の整備費用の90%を支援しました。これにより、南魚沼市の水と緑の豊かな里山林の再生をめざし、次世代林業の再生基盤づくりと中核的担い手となる人材の育成につながることも期待しています。

6 行財政改革・市民参画

消防車両整備事業 **新規** 1億1,389万円

消防車両の整備により緊急時の消防体制を強化するため、水槽付き消防ポンプ自動車を新たに湯沢署に配備しました。また、救急車を大和分署に配備し、救急対応の体制を強化しました。

